

第137回(令和6年7月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	11
	商品名	テキスト型	メンズスーツA
	単価	長整数型	15000

仕入テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	仕入CO	長整数型	101
	商品CO	長整数型	12
	数量	長整数型	25

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

<処理条件>

数量が10未満の仕入一覧表を作成する。

- それぞれの商品COを関連付けしなさい。
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。
数量が10未満を抽出しなさい。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“仕入一覧表（数量10未満）”とする。
データの並び順は数量の降順とする。
単価は通貨表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

仕入一覧表（数量10未満）				
仕入CO	商品CO	商品名	単価	数量
110	25	スラックス	¥3,200	8
		}		
133	15	ワイシャツB	¥4,800	2

第137回(令和6年7月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語ソフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	イースト
	ランクCO	長整数型	3
	エリアCO	長整数型	14

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

ランクマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	ランクCO	長整数型	1
	ランク	テキスト型	ゴールド

※ランクマスタ.csvの1行目は項目名とする。

利用テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	利用CO	長整数型	1001
	顧客CO	長整数型	148
	会議室CO	長整数型	15
	利用日	日付/時刻型	2024/6/1
	利用時間	長整数型	5

<処理条件>

会議室の利用回数をランク別に示した一覧表を作成する。

- それぞれの顧客CO・ランクCOを関連付けしなさい。
ランクCO・ランクごとに利用COを集計（カウント）しなさい。
利用COの集計は“利用回数”とする。
[処理結果件数：4件]
- 表を作成しなさい。
表題は“ランク別利用回数一覧表”とする。
データの並び順は利用回数の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

ランク別利用回数一覧表		
ランクCO	ランク	利用回数
3	ブロンズ	31
	く	
4	一般	113

第137回(令和6年7月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	大地
	割引率	倍精度浮動小数点型	0.1

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

受注テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	受注日	日付/時刻型	2023/9/21
○	商品CO	長整数型	23
	数量	長整数型	135

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	11
	商品名	テキスト型	はちみつレモン
	単価	長整数型	140

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

<処理条件>

- 2024年1月1日より前のレコードを削除し、受注回数が20回以上の商品別平均受注額一覧表を作成する。
 - <受注テーブル>の受注日が2024/1/1より前のレコードをすべて削除しなさい。
[削除件数：233件]
 - それぞれの顧客CO・商品COを関連付けしなさい。
顧客CO・受注日・商品COごとに受注額を求めなさい。
受注額=単価×数量×(1-割引率)
[処理結果件数：357件]
 - 商品CO・商品名ごとに顧客COを集計(カウント)し、受注額を集計(平均)しなさい。
顧客COの集計は“受注回数”、受注額の集計は“平均受注額”とする。
受注回数が20以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：5件]
 - 表を作成しなさい。
表題は“商品別平均受注額一覧表(受注回数20回以上)”とする。
データの並び順は平均受注額の昇順とし、平均受注額は整数未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

商品別平均受注額一覧表(受注回数20回以上)			
商品CO	商品名	受注回数	平均受注額
20	グレープジュース	25	31,928
	}		
22	ビターコーヒー	20	44,004

第137回(令和6年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

会員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	会員CO	長整数型	101
	会員名	テキスト型	遠藤 真里
	ランクCO	長整数型	2

※会員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

ランクマスタ

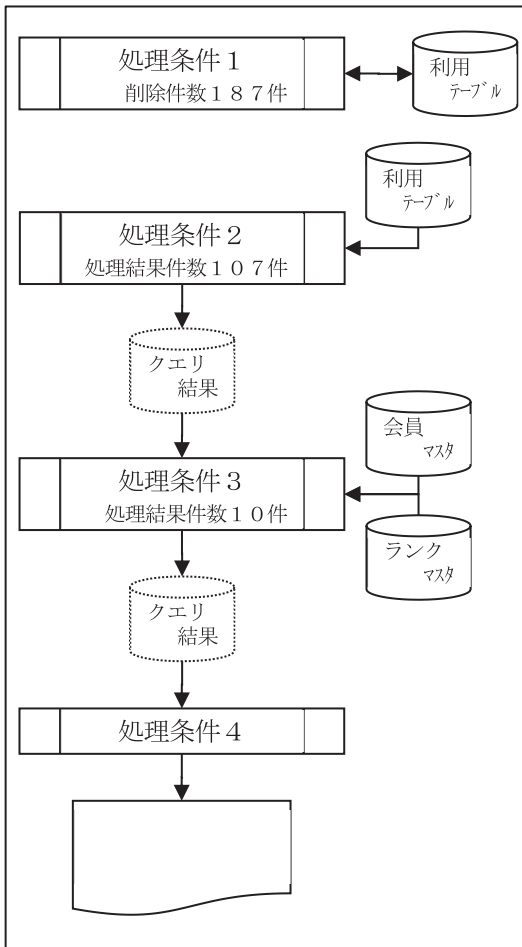
KEY	項目名	データ型	データ例
○	ランクCO	長整数型	1
	ランク	テキスト型	プラチナ
	還元率	倍精度浮動小数点型	0.03

※ランクマスタ.csvの1行目は項目名とする。

利用テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	会員CO	長整数型	101
○	利用日	日付/時刻型	2024/5/24
	利用額	長整数型	3800

<処理フロー>



<処理条件>

5月分のレコードを削除し、複数回利用した会員の獲得ポイント一覧表を作成する。

- 利用日が2024/6/1より前のレコードを削除する。
- 会員COが重複するデータの利用日・利用額を抽出する。
- ランクCO・ランク・会員名ごとに利用額・ポイントを集計（合計）する。

$$\text{ポイント} = \text{利用額} \times \text{還元率}$$

利用額の集計は“月間利用額”とし、ポイントの集計は“獲得ポイント”とする。

獲得ポイントが500以上を抽出する。

- ランクCO・ランクごとにグループ化し、ランクCO・ランクごとに月間利用額・獲得ポイントの合計を求めた表を作成する。
表題は“ランク別獲得ポイント一覧表（複数回利用）”とする。
データの並び順はランクCOの昇順で獲得ポイントの降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

ランクCO	ランク	会員名	月間利用額	獲得ポイント
1	プラチナ	合計	XX,XXX	X,XXX
		小倉 涼花	36,800	1,104
		}		
		平 亜弥	17,700	531
		}		
		}		
3	一般	合計	XXX,XXX	X,XXX
		千田 和代	73,500	735
		}		
		水上 心菜	50,000	500